

第 14 回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2016. 1. 15 熊山 ともみ

東和薬品(株)

『エペリゾン塩酸塩錠 50mg 「トーワ」 について』

東和薬品(株) 山田 尚也さん

場所：藤沢整形外科クリニック

参加者：太田先生、整形職員さん、熊山 ともみ

み

筋肉が緊張して張っている状態であると、コリを引き起こす。また、急激な筋収縮では痙攣を引き起こすことがある。具体的には、痙性麻痺など筋肉がこわばる病気、あるいは、腰痛、手足のこわばり、ひどい肩こり、五十肩、緊張型頭痛などが挙げられる。筋肉の収縮には脳からのシグナルが大きく関わっており、「筋肉の緊張に関わるシグナル」の伝達を抑える効果を持つエペリゾン塩酸塩錠について、今回勉強会を行った。

<効能・効果>

下記疾患による筋緊張状態の改善

頸肩腕症候群、肩関節周囲炎、腰痛症

下記疾患による痙性麻痺

脳血管障害、痙性脊髄麻痺、頸部脊椎症、術後後遺症(脳・脊髄腫瘍を含む)、外傷後遺症(脊髄損傷、頭部外傷)、筋萎縮性側索硬化症、脳性小児麻痺、脊髄小脳変性症、脊髄血管障害、スモン(SMON)、その他の脳脊髄疾患

<用法>

通常成人には1日量として3錠(エペリゾン塩酸塩として150mg)を3回に分けて食後に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

<禁忌>

本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

<副作用>

眠気、不眠、頭痛、四肢のしびれ(0.1~5%未満)、脱力感、ふらつき、全身けん怠感等(0.1~5%未満)が挙げられる。

<考察>

整形疾患の中で一般的に、処方されやすい薬剤の1つであり、高齢者から若者まで処方が多岐に渡る。特に、肩こりや血流が悪いことによって起こる疾患で処方される傾向にある。

エペリゾン塩酸塩錠での注意すべき点は、飲み始めに起きやすいとされている、脱力感やふらつき、眠気等の副作用である。運転や機械操作をさけることや、眠気ができる可能性のあることを、必ず注意していきたい。